

# 2007年度 決算説明会



2008年5月19日

株式会社 椿本チエイン

# 「2007年度業績報告 および今後の見通し」

- 業績報告
- 今後の見通しと戦略

代表取締役社長  
美本 龍彦

---

---

# 業績報告

---

---

# 1. 07年度レビュー 決算のポイント

3

- 「成長力の持続」 6期連続増収増益、3期連続最高益を達成
- 「収益性の向上」 経常利益率は10.8%(+1.5%)  
ROEは11.9%(+1.4%)
- 「業績成果の一部を株主に還元」 1円増配

(単位:百万円)

	07年度実績	増 減	
		対前期比	対予想比(07.11.14時点)
売上高	167,202	+11,456 (+7.4%)	+3,202 (+1.9%)
営業利益	19,805	+3,797 (+23.7%)	+2,205 (+12.5%)
経常利益	18,051	+3,506 (+24.1%)	+1,751 (+10.7%)
経常利益率	10.8%	(+1.5%)	(+0.9%)
当期純利益	10,371	+1,830 (+21.4%)	+1,571 (+17.8%)
自己資本比率	40.3%	+2.2%	— —
純D/E比率	0.24	▲0.09	— —
1株当り配当	8円	1円増配	— —

※主な為替レートの2007年度実績: 1US\$ = 114.43円, 1Euro = 161.59円

### ■売上高増加、原価率改善等により大幅に増益

#### ●2007年度の主な増減益要因

2007年度の対2006年度営業増益額 約38億円

##### ■増益要因

28億円 売上高増加

19億円 原価率改善

7億円 2006年度における旧TCA※の営業損失分

6億円 新規連結2社

1億円 為替変動

##### ■減益要因

▲23億円 販管費増加

※TCA : Tsubaki Conveyor of America, INC. (北米の子会社, '07.3.31付で解散, '08.3.20清算終了)

### 3. 07年度レビュー 事業別セグメント別内訳

- パワトラ事業部門: 好調持続(前期は特に自動車部品)
- マテハン事業部門: 大幅に回復(営業利益率は2桁)

(単位:百万円)

	2007年度実績	増 減	
		対前期比	対予想比(07.11.15時点)
■ 売上高			
パワトラ事業部門			
—GB数値(参考)—			
チェーン事業	49,800	+ 1,200 (+2.4%)	▲ 800 (▲1.6%)
精機事業	27,900	+ 1,000 (+3.7%)	+ 300 (+1.1%)
自動車部品事業	53,600	+ 9,100 (+20.4%)	+ 700 (+1.3%)
マテハン事業部門			
—GB数値(参考)—			
マテハン事業	33,600	+ 1,000 (+3.0%)	+ 3,400 (+11.3%)
■ 営業利益率			
パワトラ事業部門	14.5%	+ 0.4%	+ 1.2%
マテハン事業部門	11.9%	+ 6.1%	▲ 0.2%

## 4. 07年度レビュー 所在地別セグメント

### ■ 成果: 北米を中心に海外の収益性改善が継続

(単位: 百万円)

		07年度実績	対前期比増減 (増減率)	
日 本	売 上	130,544	+ 4,146	(+3.2%)
	営業利益	16,485	+ 707	(+4.4%)
	営業利益率	12.6%		(+0.1%)
北 米	売 上	36,002	+ 7,133	(+24.7%)
	営業利益	3,145	+ 1,845	(+141.9%)
	営業利益率	8.7%		(+4.1%)
欧 州	売 上	10,070	+ 928	(+10.1%)
	営業利益	1,204	+ 359	(+42.4%)
	営業利益率	11.9%		(+2.6%)
アジア・オセアニア	売 上	11,966	+ 4,425	(+58.6%)
	営業利益	1,997	+ 888	(+80.0%)
	営業利益率	16.6%		(+1.8%)
その他	売 上	327	—	
	営業利益	41	—	
	営業利益率	12.5%	—	
連 結	売 上	167,202	+ 11,456	(+7.3%)
	営業利益	19,805	+ 3,797	(+23.7%)
	営業利益率	11.8%		(+1.5%)

## 5. 07年度レビュー 海外売上高

- 海外売上比率は37.5% : 前期比で+0.1ポイントの増加
- 特に北米、欧州向けが堅調

(単位:百万円)

	07年度実績	対前期比増減 (増減率)	
国内計	104,581	+ 7,093	(+7.2%)
売上高構成比	62.5%		(▲0.1%)
海外計	62,621	+ 4,363	(+7.4%)
売上高構成比	37.5%		(+0.1%)
北米	35,673	+ 6,844	(+23.7%)
売上高構成比	21.3%		(+2.8%)
欧州	10,744	+ 878	(+8.8%)
売上高構成比	6.4%		(+0.1%)
アジア・オセアニア	15,278	▲ 841	(▲5.2%)
売上高構成比	9.1%		(▲1.3%)
その他	923	▲ 2,520	(▲73.1%)
売上高構成比	0.6%		(▲1.6%)

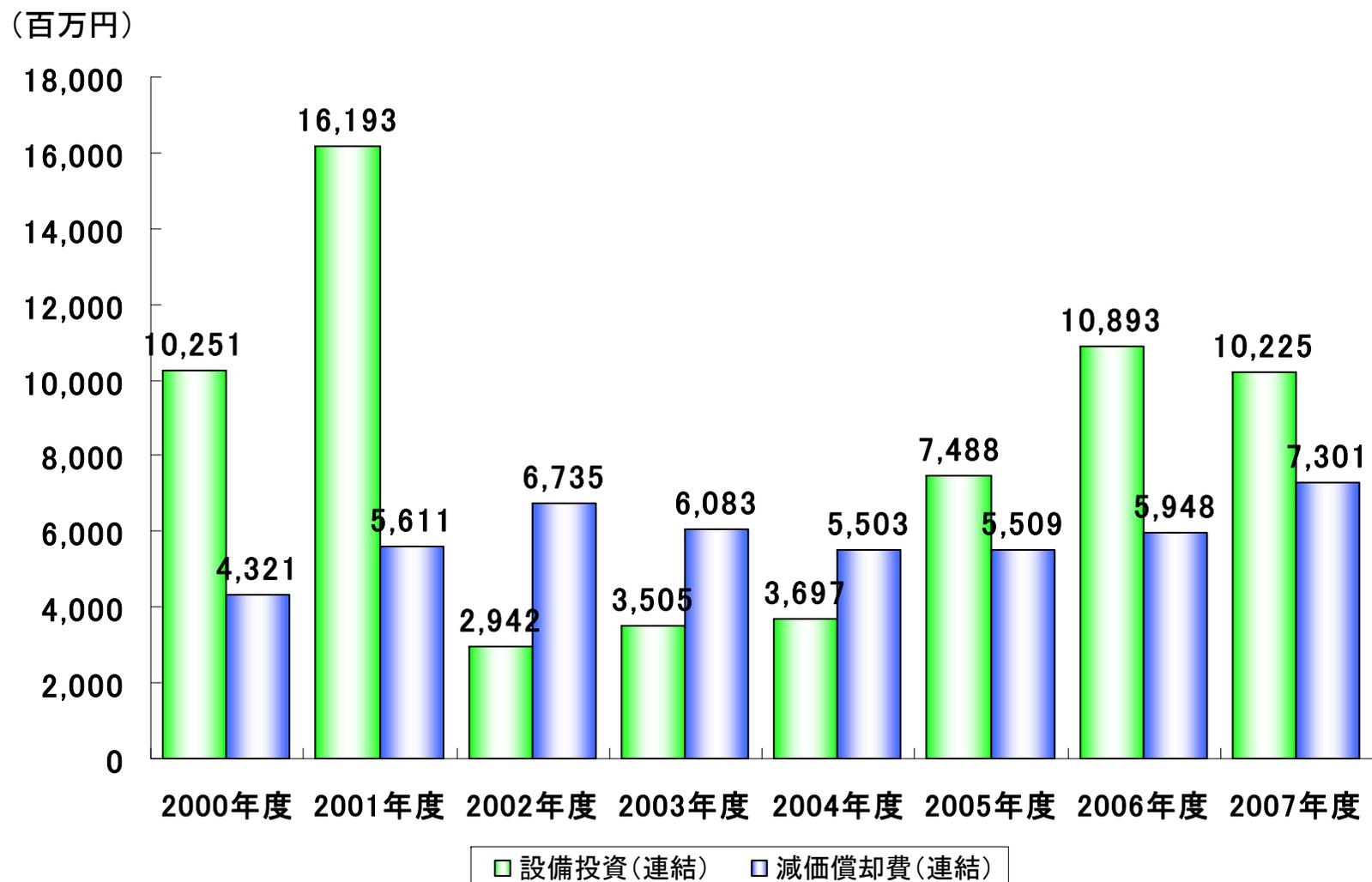
## 6. 07年度レビュー 事業別営業の概況

### ■ タイミングチェーンなど、パワトラ主力商品が引き続き堅調 工作機械業界向け、海外のセメント向け搬送設備などが牽引

事業	概況
チェーン	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鉄鋼業界向けチェーンが伸長(対前期比84.2%増)</li> <li>●工作機械業界向けチェーンが伸長(対前期比12.7%増)</li> <li>●大形コンベヤチェーン(対前期比13.6%増)、プラスチックチェーン(同59.4%増)</li> </ul>
精機	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車、鉄鋼、造船、工作機械等の業界向けが好調</li> <li>●液晶IT関連向けは後半に急回復</li> <li>●クラッチ群は好調(対前期比12.6%増)</li> </ul>
自動車部品	<ul style="list-style-type: none"> <li>●U. S. TSUBAKI, INC. (北米)が対前期比44.4%増、TSUBAKIMOTO AUTOMOTIVE (THAILAND) CO., LTD. (タイ)が同36.1%増と好調</li> <li>●新たにTSUBAKIMOTO AUTOMOTIVE (SHANGHAI) CO., LTD. (中国)が連結対象に</li> </ul>
マテハン	<ul style="list-style-type: none"> <li>●自動車業界向け塗装ライン搬送システムの売上が減少</li> <li>●インド及び中国を主とする海外セメント向けの粉粒体搬送設備が好調</li> <li>●工作機械向けのチップコンベヤも好調</li> </ul>

## 7. 07年度レビュー 設備投資・減価償却費

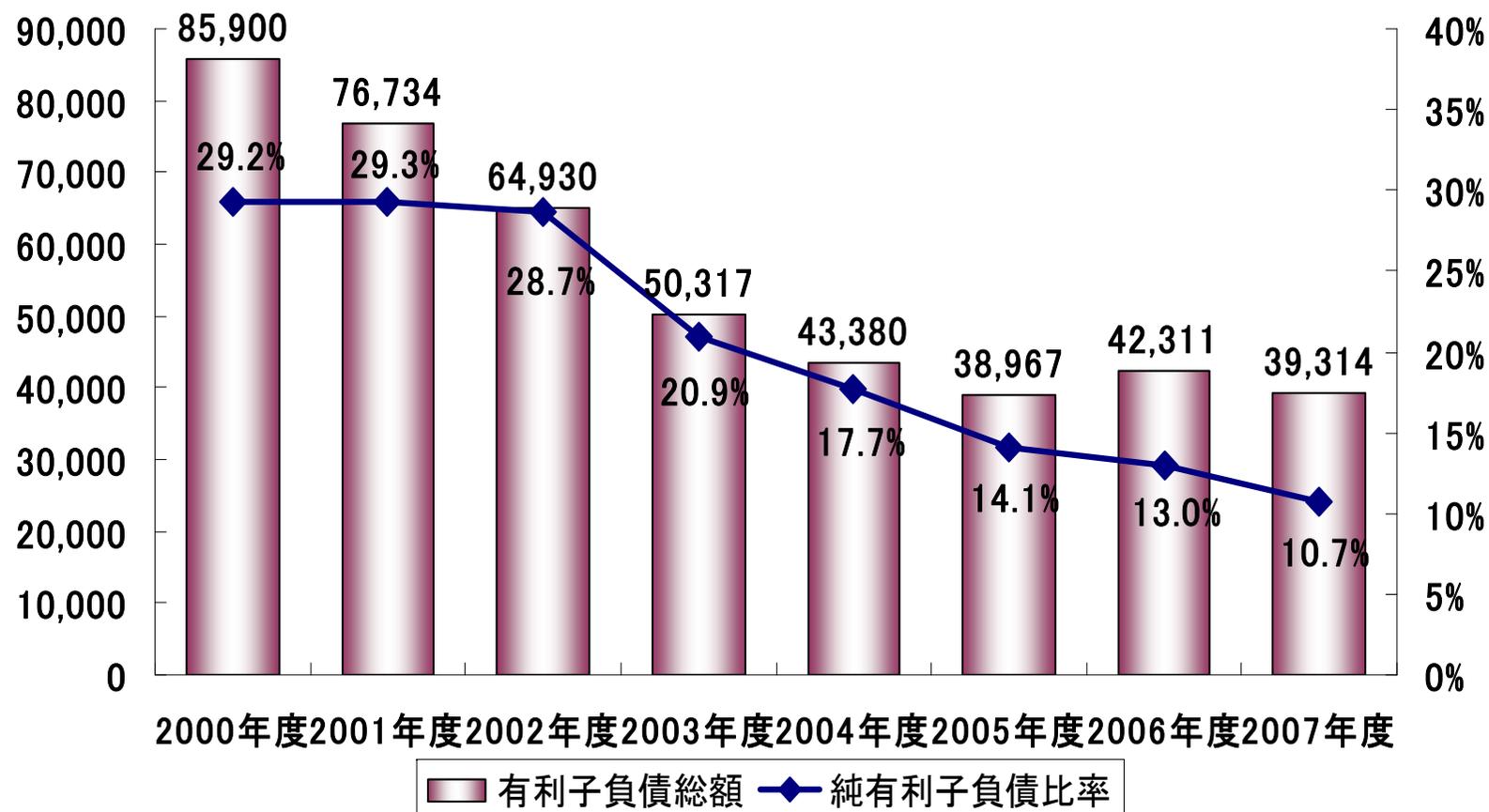
### ■ 生産能力増強のため、2005年度から設備投資を拡大



## 8. 07年度レビュー 有利子負債

■財務基盤はさらに強固に。「A-」格付を取得。

(百万円)



---

---

# 今後の見通しと戦略

---

---

## ■外部環境悪化の懸念から、慎重なスタンスで減益を予想

●数値目標

売上高	1,690億円(対前期比 +1.1%)
経常利益	170億円(対前期比 ▲5.8%)

●前提条件(主な為替レート)

1US\$	=100円
1Euro	=159円

●懸念材料

- ・原油、鋼材をはじめとする原材料価格の高騰
- ・為替レート(ドル安)の影響
- ・米国の景気後退懸念と世界経済への影響
- ・自動車減産の動き

## 2. 08年度 営業利益増減要因

13

### ■ 原材料価格高騰、減価償却費増、為替変動の影響等により 減益を予想

#### ● 2008年度の主な増減益要因

2008年度の対2007年度営業減益額 約**12**億円

##### ■ 減益要因

- ▲44億円 原材料価格高騰
- ▲13億円 減価償却費増加等
- ▲10億円 為替変動
- ▲3億円 販管費増加

##### ■ 増益要因

- 32億円 値上げ
- 22億円 売上高増加
- 4億円 合理化

### 3. 中期経営計画STEP10

#### ■環境に左右されない「持続的成長基盤」の確立

- 2008年度から2010年度の売上高伸び率:約12%
- 売上高経常利益率10%を維持

(単位:百万円)

	2007年度実績	2008年度計画	2009年度計画	2010年度計画
■売上高(連結)	167,202	169,000	179,100	189,200
パワトラ事業部門				
チェーン事業	49,800	51,200	55,500	58,500
精機事業	27,900	29,400	30,400	32,100
自動車部品事業	53,600	54,100	54,900	57,500
マテハン事業部門	33,600	32,000	35,200	36,800
■経常利益(連結)	18,051	17,000	18,800	20,500

※2007年度 実績為替レート : 1US\$ = 114.43円、 1Euro = 161.59円

※2008~10年度想定為替レート: 1US\$ = 100円、 1Euro = 159円

## ■「持続的成長基盤」確立のための戦略

### 1)これまでの延長線上の戦略

- ①商品力の優位性強化 ②生産力における優位性拡大 ③財務体質における優位性拡大

### 2)これまでより大きく加速させる戦略

- ①自動車部品事業の工場分散化と生産能力増強
  - ・国内工場を埼玉一極集中→分散
  - ・東欧新工場建設、北米増産、タイ工場拡張
- ②海外調達を含めた最適地生産・最適地調達
  - ・精機のLCC※比率を20%へ(08年度目標)
  - ・自動車部品の現地化率を50%へ
- ③新(海外)市場の開拓(BRICsなど新興市場)
  - ・ブラジル、インドなどに新拠点設立
- ④新商品の開発
  - ・パワードライブチェーンなど
  - 新商品比率30%(現状約20%)が当面の目標
- ⑤M&A

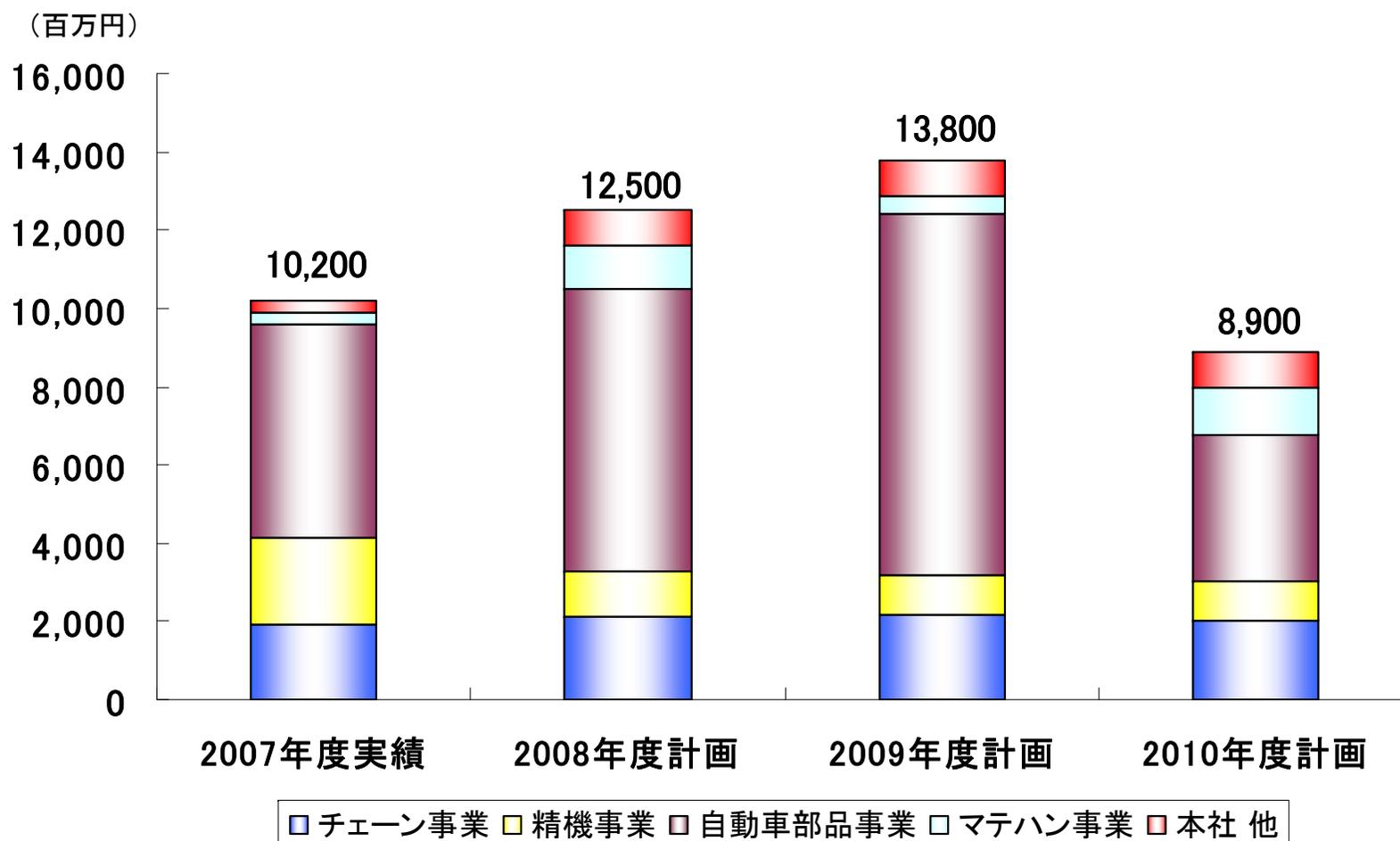
短期的には、先行投資負担  
というマイナス要因

中期的には  
「円高抵抗力の増強」という  
プラス要因

※LCC:Leading Competitive Countries の略

## 5. 設備投資計画

- 自動車部品事業の生産能力増強のため、積極的投資を継続  
・08～10年度累計で約350億円を投資



## Our Mission

—物づくり、夢づくり、世界の顧客と語り合う—  
私達は、「パワートランスミッション」と  
「マテリアルハンドリング」の技術力を駆使して、  
世界の顧客にベスト・バリューを提供します。

## Our Vision

私達は世界のリーディング・カンパニーを  
目指します。

本資料には、業績見通しおよび事業計画等を記載しております。

これらにつきましては、各資料の作成時点においての経済環境や事業方針などに基づいて作成しております。したがって、各種要因により、これらの業績見通しとは異なる結果になりうることをご承知おき下さい。

終